



社会と経済

令和6年10月16日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

社会と経済は密接に繋がるものである。経済がライフラインを維持するものであるからである。これらはマネーゲームに対して経済の使命と倫理的判断を考慮するものである。

グローバル経済が巨大資本とともに、これら競争を経て、自己を有することは現実であり、企業がこれを否定することはできない。

またこれら既存社会システムは、グローバル経済という競争原理とともに、自己の転換を得ることは今日の現実なのである。

またこれら現実がデジタル社会への転換を有することは今日の現実とトレンドであり、これらが自由経済システムにおける自由な活動とともに存在することは、ビジネスの高揚が存在するものである。

これらは新たな社会への転換が競争原理において存在することを意味するものである。これらが葛藤を与え、キャリアやとみへの渴望は現実において存在するものである。

しかし社会が共同体として存在した日本の既存現実が西洋の競争原理への転換することは、大きな葛藤を現実において与えるものである。

しかし新たな未来はデジタル社会、すなわちコンピューターエイジであり、これらが大きな生産性と効率性を与える新たな社会基準と現実を与えるものである。これが今日の社会転換と産業革命の現実である。これらは技術とシステムの進歩が新たな未来を約束すること留意しなくてはならない。

これらは経済が次世代という新たな現実への参加を要求されることであり、これらせんたんせいはよりすぐれた現実を過去に対して有することにおいて、それらを否定することは不可能なのである。

唯一留意すべきは、競争原理というルールであり、勝者と敗者を有することを理解しなくてはならない。

